

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

田中 延幸

1. 授業の概要(ねらい)

この演習は、「20世紀ヨーロッパの経済と企業」をテーマとする。現在、ヨーロッパ経済を構成する諸国の大半はヨーロッパ連合(EU)に加盟し、EU経済の理念・政策・制度から大きな影響を受けている。そのため、ヨーロッパ経済はEU経済とほとんど重なっている。また、EU加盟国の企業は、EU経済における最も重要なアクターの一つである。したがって、この演習を通じて、EU加盟国の企業の動向とともに、EU経済の成立と展開について学ぶ。

2. 授業の到達目標

ヨーロッパ経済の歴史と現状について学ぶことを通じて、国際的視野を身につけるとともに、資本主義的市場経済の多様性について理解を深め、日本経済ないしアジア経済の将来像を構想する。

3. 成績評価の方法および基準

レポートの作成と発表:60%
討論への参加:40%

4. 教科書・参考文献

教科書

参加者と相談の上、テキストを決定する。

5. 準備学修の内容

テキストの輪読と討論では、報告者は、テキストの担当箇所の内容を紹介し、論点を提示することができるよう準備すること。また、報告者以外は、テキストの当該箇所を読み、疑問点などを整理しておくこと。個人発表では、報告者は、担当するテーマについてプレゼンテーションすることができるよう準備すること。また、報告者以外は、当該テーマについて調べ、質問を考えておくこと。

6. その他履修上の注意事項

毎回、出席すること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------|
| 【第1回】 | テキストの決定 |
| 【第2回】 | テキストの輪読と討論—第1章 |
| 【第3回】 | テキストの輪読と討論—第2章 |
| 【第4回】 | テキストの輪読と討論—第3章 |
| 【第5回】 | テキストの輪読と討論—第4章 |
| 【第6回】 | テキストの輪読と討論—第5章 |
| 【第7回】 | 個人発表—通貨統合の歴史(1970年代) |
| 【第8回】 | 個人発表—通貨統合の歴史(1980年代) |
| 【第9回】 | 個人発表—通貨統合の歴史(1990年代) |
| 【第10回】 | 個人発表—ユーロ危機 |
| 【第11回】 | 個人発表—ユーロ制度の改革 |
| 【第12回】 | 個人発表—EUとイギリスの経済・企業 |
| 【第13回】 | 個人発表—EUとフランスの経済・企業 |
| 【第14回】 | 個人発表—EUとドイツの経済・企業 |
| 【第15回】 | まとめ |